

平成 24 年度臭気モニタリング結果

1 目的

現在問題となっている悪臭公害について、悪臭公害の実態を把握することにより、原因事業所（養豚事業所及び堆肥製造事業所）への指導の充実に図り、悪臭問題の早期解決に資することを目的としています。

2 モニタリング方法

- (1) 6月4日から10月28日までの期間において、1日1回以上臭気を調査し、調査時刻、風向き、風の強さ及び次に示す臭気強度の状況を「調査票」に記入し、諸事情により調査できない日があった場合は、欠測としました。
- (2) 調査時刻は、これまで悪臭を感じた時間帯を勘案するなど、各自の判断に委ねることとしました。
- (3) 調査回数は、1日に1回以上であれば、何回実施しても構わないこととしました。
- (4) 調査報告は、記入した「調査票」を1週間分（月～日曜日）まとめて、市へ報告することとしました。

<3段階臭気強度表示>

| 臭気強度 | 内容 |
|------|------|
| 0 | 無臭 |
| 1 | 臭う |
| 2 | 強く臭う |

※臭気強度の前に、臭いの種別（M=養豚事業所、S=堆肥製造事業所、W=両者、X=不明）を表記

3 総括

今回のモニタリングは、20名の方の御協力をいただき、市の南部を中心に20地点で実施しました。

モニタリングは、臭気のおおよその拡散状況を把握することができるため、原因事業所による悪臭対策の改善状況や悪臭苦情との整合を図ることができ、貴重なデータとなりました。

両事業所の臭気は、南原地区を中心に事業所の近傍で高い頻度・強度で漂っており、養豚事業所は松川沿いに、堆肥製造事業所は比較的遠方に臭気が漂っていることが特徴的です。臭気が感知された時間帯につきましては、養豚事業所は朝・夜間が、堆肥製造事業所は昼間が多く、昨年のモニタリング結果とほぼ同様の傾向であることが分かります。

この傾向は悪臭苦情と整合しており、市としましては、引き続き臭気の拡散状況を監視するとともに、適切な臭気対策を指導していきたいと考えております。